

解剖学第二（組織細胞生物学）講座

【教育】	
1. 到達目標	1. 人体を構築する様々な器官・組織について顕微鏡による観察を行い、正常な組織構造を図示し説明できる。 2. 脳・脊髄の全体像と断面像を観察し、神経核群と伝導路および神経系全体の形成過程を図示し説明できる。 3. 上記の観察により、構造と機能との相関関係について説明できる。 4. 観察結果の詳細なスケッチおよび記述を行うことにより、略図と文章による表現力を養う。
2. 現状説明	教員3名＋技官1名の体制で、上記目標を達成するために、組織学および神経解剖学の授業ならびに実習を行っている。観察結果をスケッチさせ、レポートとして提出させている。
3. 点検・評価	毎年、筆記試験および実習試験の成績をチェックし、翌年の授業内容に反映させている。
4. 目標・改善方策の達成度	目標は達成されていると思われる。
【研究】	
1. 到達目標	脂質代謝酵素ジアシルグリセロールキナーゼ（DGK）の分子・細胞・個体レベルにおける機能解析
2. 現状説明	細胞および個体レベルの疾患モデルを作製し、DGKの機能解析を行っている。
3. 点検・評価	培養細胞を用いて得られた実験データを個体レベルで検証する。
4. 目標・改善方策の達成度	得られた知見を学会発表と論文にて公表を行っており、目標は達成されていると思われる。

解剖学第二（組織細胞生物学）講座

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
1. 論文	(1)原著	査読有 Okada N, Sugiyama K, Shichi S, Shirai Y, Goto K, Sakane F, Kitamura H, Taketomi A.	Combination therapy for hepatocellular carcinoma with diacylglycerol kinase alpha inhibition and anti-programmed cell death-1 ligand blockade.	Cancer Immunol Immunother. 2022 Apr;71(4):889-903. PMID: 34482409	IF=6.630, Q1		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Suzuki A, Shirata T, Noto K, Matsumoto Y, Muraosa H, Abe M, Goto K, Otani K.	* Associations of the A118G OPRM1 polymorphism with sociotropy and interpersonal sensitivity.	Brain Behav. 2022 Jun 27:e2674. PMID: 35761357	IF=3.405, Q2	E Only	
1. 論文	(1)原著	査読有 Pakkarato S, Sakagami H, Goto K, Watanabe M, Kondo H, Hipkaeo W, Chomphoo S.	Localization of phosphatidylinositol phosphate 5 kinase γ , phospholipase β 3 and diacylglycerol kinase ζ in corneal epithelium in comparison with conjunctival epithelium of mice.	Exp Eye Res. 2022 Aug 10;223:109205. PMID: 35963308	IF=3.770, Q2		D
1. 論文	(1)原著	査読有 Hemha P, Chomphoo S, Polsan Y, Goto K, Watanabe M, Kondo H, Hipkaeo W.	Discrete localization of phospholipase C β 3 and diacylglycerol kinase ζ along the renal proximal tubules of normal rat kidney and gentamicin-induced changes in their expression.	Histochem Cell Biol 2023 Mar;159(3):293-307. PMID: 36478081	IF=2.531, Q1		D
1. 論文	(1)原著	査読有 Hozumi Y, Yamazaki M, Nakano T	Immunocytochemistry of phospholipase D1 and D2 in cultured cells.	Biochem Biophys Res Commun. 2022 Oct 15;625:161-166. PMID: 35963162	IF=3.322, Q2		B
2. 学会報告	(2)国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	中野知之、後藤薫	脂質代謝を介した脂肪組織の機能制御：エネルギー代謝から体温調節まで	第128回日本解剖学会総会・全国学術集会、仙台：2023年3月18日 - 20日		
2. 学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 小澤昌子, 中野知之, 伊関憲, 後藤薫	e型DGKの欠損はNF-kBシグナルを介した酸化ストレスを軽減する	第128回日本解剖学会総会・全国学術集会、仙台：2023年3月18日 - 20日		
2. 学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読無 中野知之、後藤薫	DGK欠損褐色脂肪における熱産生低下のメカニズム	第68回 日本解剖学会 東北・北海道連合支部学術集会、札幌：2022年9月10日-11日		
6. その他			後藤薫	ϵ 型ジアシルグリセロールキナーゼ (DGK) 欠損マウスの高脂肪食および寒冷暴露実験	金沢大学 研究セミナー 2022年6月28日		
6. その他			後藤薫	ヒトの進化論と文明論～Homo sapiensとHumankind～	金沢大学 特別講義 2022年6月28日		
6. その他			後藤薫	ジアシルグリセロールキナーゼ (DGK)による生体ホメオスタシス制御：肥満と体温調節	秋田大学 研究セミナー 2022年10月25日		
6. その他			後藤薫	ヒトの進化論と文明論～Homo sapiensとHumankind～	秋田大学 特別講義 2022年10月26日		